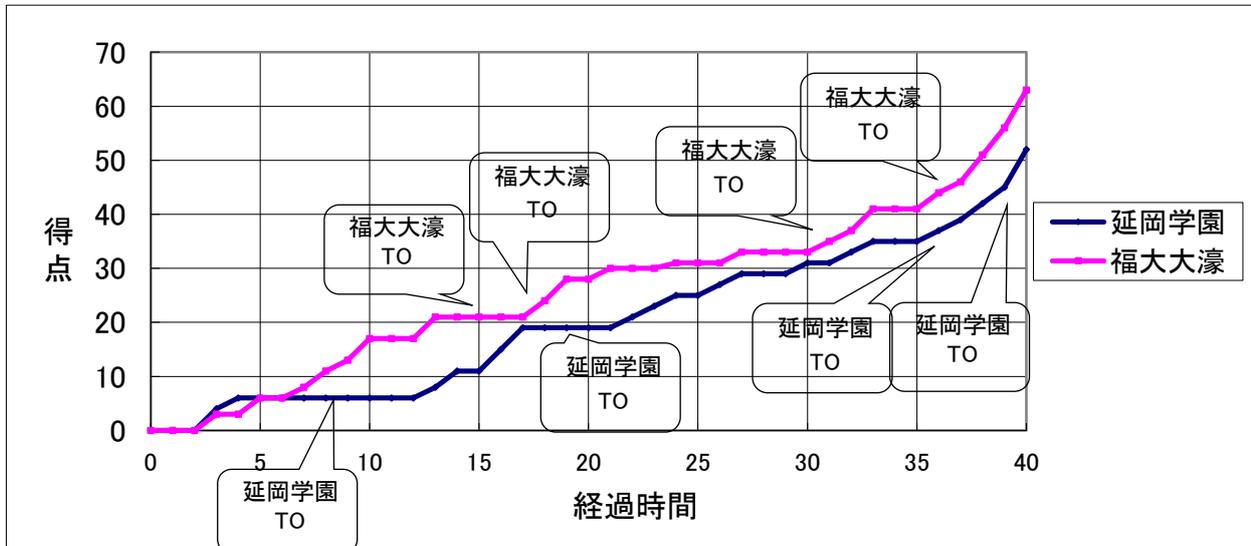


大会名	平成28年度 第69回全九州高等学校バスケットボール競技大会	B2	10:30	男子準決勝																
	期日	2016年(平成28年)6月26日(日)	延岡学園 52 宮崎1位 ●	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>5</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>30</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	6	-	17	13	-	11	12	-	5	21	-	30	-	-	-	63 福大大濠 ○ 福岡2位
				6	-	17														
13	-	11																		
12	-	5																		
21	-	30																		
-	-	-																		
会場	佐賀県総合体育館	主審 伊藤 彰二 副審 大久保 好純・小川 隆三																		



延岡学園

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
○ 4	水谷 慎之介	7	1	2	0	4
○ 5	SYLLA MAMADOU	15	0	7	1	1
6	平尾 剣弥	0	0	0	0	0
○ 7	池浦 健太郎	6	0	3	0	4
8	近藤 央	0	0	0	0	0
9	森 紅也	0	0	0	0	0
10	吉田 韻希	0	0	0	0	0
11	八崎 健之介	0	0	0	0	0
12	米澤 協平	2	0	1	0	0
○ 13	渡辺 新	15	1	6	0	3
◎ 14	榎田 拓真	5	1	1	0	4
15	PALANA TSHITSHIE AARON	2	0	1	0	3
16						
17						
18						
コーチ	川添 裕司					
	合計	52	3	21	1	

福大大濠

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	鍵富 太雅	8	0	3	2	1
5	西田 優大	12	2	2	2	1
6	立野 友也	0	0	0	0	0
7	桐山 慶太	0	0	0	0	0
○ 8	青木 亮	4	0	2	0	1
9	中崎 圭斗	0	0	0	0	0
10	永野 聖汰	0	0	0	0	0
○ 11	上塚 亮河	2	0	1	0	0
12	土家 大輝	3	1	0	0	0
○ 13	渡嘉敷 直輝	18	2	5	2	3
◎ 14	児玉 修	6	0	0	6	2
○ 15	井上 宗一郎	10	0	4	2	2
16						
17						
18						
コーチ	片峯 聡太					
	合計	63	5	17	14	

○はスターター(◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

準決勝好カードの試合は、福大大濠が最後まで追いつがる延岡学園に勝利し決勝に駒を進めた。第1P、福大大濠は硬さが見られたが、延岡学園は#13渡辺のリバウンドや速攻が決まる。福大大濠#5西田がシュートブロックすれば延岡学園#14榎田がやり返す。第1P残り1分、延岡学園がタイムアウトを取るも福大大濠#8青木のミドルシュートで17-6で終了。第2P、お互い激しいディフェンスから一進一退の攻防が続く中、延岡学園#13渡辺がミドルシュート、3Pシュートを決め点差を縮める。残り5分、2分に福大大濠がタイムアウトを要求、選手は落ち着きを取り戻し冷静に試合を進める。変わって入った福大大濠#12土家が3Pシュートを沈め28-19、9点リードで折り返す。第3P、延岡学園#13渡辺、#14榎田のシュートで点差が徐々に縮まる。終了間際#13渡辺の3Pシュートが決まり33-31、2点差まで延岡学園が追い上げる。第4P、ゴール下で福大大濠#15井上がシュートを決めれば、負けじと延岡学園#5MAMADOUがゴール下を決め一人気を吐き、点差が5点。残り3分福大大濠タイムアウトを要求、福大大濠#13渡嘉敷が3Pシュートを沈め、延岡学園もタイムアウトを取り、ゾーンプレスを敷く。しかし点差が縮まらずファウルゲームをするも福大大濠はフリースローを確実に決め63-52で延岡学園を退けた。

記者

(所属) 佐賀県バスケットボール協会